

令和3年度 第3回東京都サービス管理責任者等研修検討会 議事録【要旨】

日時 令和3年10月29日（金曜日）午前10時から午前12時まで
（新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から、WEB上での意見交換による開催）

出席者 妹尾委員長、奥秋副委員長、秋谷副委員長、宮田副委員長、浅野委員、徳武委員、小出委員、相良委員、会田委員、岡田委員、樋口委員、橋爪委員、渡辺委員、大塚委員、清水委員

事務局 東京都心身障害者福祉センター地域支援課長 森下 他3名
公益財団法人総合健康推進財団職員 3名

1 開会

事務局	<ul style="list-style-type: none">資料確認（事前にメール送付） 次第 資料 令和4年度サービス管理責任者等専門コース別研修企画案 <ul style="list-style-type: none">研修委託先である、公益財団法人総合健康推進財団の方も参加している。記録のための録音をさせていただくこと、また、今回の検討会議事録（要旨）、資料については、出席委員の意見により公開・非公開を決めることができる。公開となった場合は、東京都心身障害者福祉センターのホームページに掲載するので、ご了承ください。
-----	---

2 研修実施状況の報告

公益財団法人総合健康推進財団	<ul style="list-style-type: none">現時点での研修進捗状況について、研修ごとにご報告させていただく。第2回基礎研修については、申込が1,298名、受講決定者が609名となり、申込みの約半分の方に受講いただく予定。動画配信は、11月10日から19日まで、その後、研修4日目5日目となる演習が、11月29日から12月16日までの全6コースで実施予定。次に、実践研修は、申込が604名、受講決定者は、現在、東京都が選考中。動画配信については、3回に分けて実施予定で、1回目が12月10日から13日、2回目が1月下旬で、概ね1月28日から1月31日の4日間で考えている。3回目が2月下旬で、2月25日から2月28日の4日間で考えている。その後、演習は12月20日から3月10日まで、2日間の日程で全15コース実施する予定。実践研修についてもZoomを使った研修となり、現在準備を進めている。更新研修は、10月22日まで募集をした。1,700名定員のところ、1,750名から申込があった。受講決定者については、現在、東京都と選考中。今後、来年1月11日から13日まで動画配信、その後、演習が2月1日から2月25日まで半日間の研修で、全17コース実施予定。こちらもZoomを使った研修で、現在準備をしている。第2回専門コース別研修は、受講決定者は61名、来年の1月5日から1月7日まで動画配信の予定で準備をしている。
----------------	--

3 検討事項

(1) 令和4年度サービス管理責任者等専門コース別研修企画案について

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none">・ 検討事項1、令和4年度サービス管理責任者等専門コース別研修企画案の検討に入る。・ 専門コース別研修は、令和元年度のプログラムをブラッシュアップする形で、今年度まで実施してきた。今年度の国研修で専門コース別研修について伝達があり、今後の研修について改めて検討していただいた。大塚委員から企画案の資料について説明をお願いします。
大塚委員	<ul style="list-style-type: none">・ 令和4年度の専門コース別研修について、障害児支援の専門コース別研修の企画案ということで提案させていただく。資料は、企画案が1枚とプログラムが2パターンの計3枚。資料に沿って説明する。・ 実施時間は1日6時間を想定。開催形式については、令和4年度の専門コース別研修はオンライン開催で進める予定と事務局から聞いている。配信にするのか、今回の基礎研修のような双方向にするのかは、今後検討が必要と思っているが、オンラインを想定した企画案になっている。・ 受講対象者については、基礎研修が修了した段階で、これからOJT期間に該当する方、児童発達支援管理責任者に従事する予定の方を対象としている。・ 内容に関しては、現在の基礎研修で不足している児童期特有の支援提供や、個別支援計画のプロセスのポイントなどの部分を学び、理解できる機会となるため、専門コース別研修ではあるが、どちらかといえばフォローアップ的な要素のある、専門コース別研修になってくると考えている。・ 研修の獲得目標は、児童発達支援管理責任者として従事するための基本姿勢を知るところと、支援提供や個別支援計画作成のプロセスにおいて、児童期特有のポイントに対すること、また、事業所や他地域の取り組みを知るところ、3点を獲得目標としてあげている。・ プログラムは、簡単な案としてまとめたので、資料に沿って説明させていただく。2パターン、一方的な配信と双方向という形でプログラム案は作っているが、概ね科目の変更はない。科目は、同じような流れで進んでいくことをイメージしている。今年度の専門コース別研修と異なる点としては、国研修を受けて児童発達支援管理責任者としての基本姿勢について、児童分野に関してはガイドラインがかなり明確に出ている部分もあるため、ポイントとなる話や、子どもの権利条約の部分など、国研修でも基本姿勢として重要視されていたため、その辺の講義を入れていく。・ 相談支援との連携については、今回の国研修の障害児支援専門コース別研修は、相談支援と児童発達支援管理責任者の双方を対象とした研修という形で組み立てられているものだったため、相談支援との連携に関しては講義の中で入れていくよう、プログラムに落とし込んでいる。・ 障害児分野に関しては、相談支援については制度的なところをなぞらせる講義より、成功事例や実践例など、目指すところと現実的な連携というところを講義の中で受講者へ伝えていけるとよいと考えている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の作成プロセスの部分は、プロセスの流れについては、ある程度基礎研修で理解できていると思うため、主にアセスメントが中心になってくるかと思う。時間配分や具体的にどのように進めていくかは、今後の検討になる。 ・他事業所や他地域の取り組みを知るところは、国研修でも、グループワークの中で、他地域の取り組みや他事業所の取り組み、実践例や成功例を共有する時間を多めにとるプログラム案となっていた。ただ、オンライン配信になってしまうとグループワーク的な要素が不足してしまうため、グループワーク的な位置づけということで、実際に今、実務者として実践されている方に実践例や普段実務で行っていることをディスカッション形式で話してもらい、それを受講者に見ていただく形を想定している。プログラム案については以上になる。 ・最後に、企画案のその他に書いているが、児童分野には講師経験の豊富な方も揃っている。中長期的に見た時に、ファシリテーターを担っている児童分野の方も増えてきているので、そういった方に講師を担っていただくことで、経験の場と捉えることができるのではないかと考える。 ・今年度の専門コース別研修は、募集定員からすると、参加者が少ない傾向が見られる。広報の方法や募集時期について検討が必要。今年度の募集は基礎研修と同じタイミングで行っているが、以前は、基礎研修が終わった後に募集していたと思う。実績を見てどちらの時期の募集がよいのか、児童発達支援管理責任者は基礎研修修了時に不足を感じると思うため、スケジュール的に可能であれば、基礎研修を受ける前よりは受けた後に募集するなどの検討も必要かと思う。
妹尾委員長	・報告について質疑応答をいただきたい。
渡辺委員	・フォローアップ的な要素ということであったが、基礎研修修了後に受講する実践研修でもフォローアップをするため、また同じことをやるのかと受講者が思ってしまうのもったいない。内容が実践研修とかぶらないとよいなという印象を持った。
大塚委員	・児童分野特有の部分に重きを置き、実践研修とはかぶらないよう内容を今後検討していきたい。意見を参考にさせていただく。
妹尾委員長	・その他に意見がないため、これで意見交換は終了とする。

(2) つながりを意識した研修プログラムの作成について

妹尾委員長	・次に、つながりを意識した研修プログラムの作成についてに入る。事務局から検討内容について説明いただきたい。
-------	---

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より実践研修が実施となり、サービス管理責任者等研修の全ての研修を実施することになった。サービス管理責任者等になるためには2段階での研修が必要となり、また、5年毎に自己の振り返りと知識・情報の更新をし続けていくこととなった。段階的に力を付けていくことがねらいとなっている。 ・国研修では、基礎・実践・更新の3つの研修がストーリー性を持ち、研修を企画することが大切といった話があった。どのような工夫があればつながりを意識した研修プログラムを作成することができるのか、来年度の研修プログラム作成に向けて、ご意見をいただきたい。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様から意見をいただきたい。
宮田副委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修は、個別支援計画の作成がメインで目標設定していると認識している。実践研修の大きな目的は、チーム作りがメインになっていて、職員への助言や会議の運営等が、かなり重視されている。どのように職員の意見を引き出すか、サービス管理責任者等が意見を押し付けず、いかにチームとして考える姿勢を作るかが、重視されている印象がある。 ・そのように考えた時に、更新研修でも今後、スーパービジョンが入ってくるため、更新研修の目的がどの辺なのかを聞かせてもらえると実践研修はここまでで、更新研修はここからという形で目標設定できると思う。 ・実践研修にもモニタリングが少し入っているが、基礎研修では定期で最大6か月の期間のモニタリングという大きな枠組みになるが、国研修の実践研修の資料を見ると、問題が起きたと思った時にサービス管理責任者等がいかに動いて会議を設定するか、必要な支援を日々行っているかを検討していくというところがメインになっていると考える。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・宮田委員からご意見があったが、担当の研修について、同じようなテーマ性のところを基礎と実践とで住み分けるといった話であり、そのことをどのようにしていくかといった提示であったと思うが、いかがか。この辺は丁寧な擦り合わせが必要だと感じた。できれば、宮田委員の投げかけについて、各グループでのこれまでの検討状況でもよいので、発言をいただきたい。
樋口委員	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの研修を連動させることについて、イメージ的には、サービス管理責任者等が行うことは、個別支援計画を立ててモニタリングするという事業所の中のことと、相談支援専門員や地域、大きくとらえると自立支援協議会とどうつながっていくかになり、事業所の中と大きなところということになる。 ・基礎研修はどちらかというと、事業所の中で個別支援計画立てる、モニタリングするというところで、実践研修は、事業所のチームマネジメントも考えながらやっていくということになる。 ・実践研修の中で自立支援協議会を活かしていこうという項目があるが、更新研修でも同じような項目がある。更新研修チームの秋谷委員からどのような内容にするかと相談があった。今回、更新研修の内容に近いところを作ってしまったというところがある。 ・各研修でどの辺を知ってもらえばいいのか擦り合わせは必要だと感じる。東京都が目指しているリーダーの姿の項目に沿って、あとは、各プログラムを並べ

	<p>てみて意見調整が必要かと思う。基礎研修はここまでとか、相談支援専門員との連携については実践研修がいいとか、具体的なところをあげていくのがよいかと思った。</p>
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 基礎研修チームや更新研修チームの方からも意見をいただきたい。迷っているといった部分についてなど、発言いただけると意見交換が順調になると思う。
秋谷副委員長	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会の部分について、実践研修チームの樋口委員とやり取りをしていた。 つながりについては、昨年度までは、実施が基礎研修と更新研修だけであったが、今年度、実践研修が入り3つの研修が揃った。実践研修では、チームマネジメントや自立支援協議会、スーパービジョンが入っている。 更新研修は、あと2年は今と同じプログラムでスーパービジョンが入っていない内容で実施していく。実践研修には、すでにスーパービジョンが入っていることがあり、2年後から実施する更新研修のスーパービジョンはどうしたらよいかと考えていた。 リーダーの姿を見ながら話を聞いていたが、この辺のつながりをどうするかについて、もう一度立ち返り、リーダーの姿も含めて見直したほうがよいと思った。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 基礎研修チームの皆様はいかがか。
大塚委員	<ul style="list-style-type: none"> 今年度から基礎研修チームに参加しているため、つながりというよりも自分のことで精一杯だったことを皆様の話を聞いて反省していたところ。つながりについては、これから実践研修が入ってくることで、当然必要になってくると感じている。 方法論の話になってしまうかもしれないが、大きい会議体の中でつながりを確認していくことは難しいと思う。研修ごとに整理し、どこかの場で擦り合わせて全体像を確認し、それを全体の場でフィードバックするのが一番現実的かと思った。皆さんの意見については概ね賛成であり、そのような形で進めていくべきかと思った。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 委員から意見をいただいたが、各研修チームで意見をまとめた上で、全体で共有するという大塚委員からの提案があった。事務局はいかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 擦り合わせが必要との意見をいただいたため、今後検討していただきたいと思っている。今日の会議が少し早めに進んでいるので、チーム検討の時間を少し増やして、検討していただくことは可能なので、お願いしたい。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 会議が少し早く進んでいるので、チームの話合いの時間が予定より長くとれると思う。今、議論していただいた、重なり合う部分についてどちらがどの部分を担当することが、受講者にとってよりよい研修になるかということも含めて、研修チーム毎に話をしていただき、報告の時にその辺りも含めて話していただけると会議の時間が有効に使えると思う。そのような形で進めてもよろしいか。(承認) では、検討事項(2)については、これで区切りとさせていただきます。

(3) 各研修プログラムの検討について

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 各研修プログラムの検討に入る。ここからは、ブレイクアウトセッションになる。検討内容は、基礎研修は、11月4日に実施するファシリテーター説明会についての最終確認と来年度のプログラムの検討。実践研修は、研修教材作成と12月1日に実施するファシリテーター説明会プログラムの検討。更新研修は、研修教材作成と1月6日に実施するファシリテーター説明会プログラムの検討 研修内容で重なり合う部分をどのように整理していくかについても、合わせて議論をお願いしたい。 11時50分より検討結果の報告に移る
	<ul style="list-style-type: none"> チームごとに検討（記録省略）

各チームからの報告

妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> 各研修チームの副委員長から検討結果の報告をお願いしたい。各チーム2～3分程度で話していただきたい。
奥秋副委員長	<p>[基礎研修チーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月4日の説明会について、最終的な各演習の流れや内容の確認等を行った。 来年度のプログラムについては、研修間のつながりにも関係してくるので、先につながりについて話した。基本的に基礎研修の上に実践研修と更新研修が積み上がるという形になっているので、基礎研修に付け加えてほしいことがあったら、他の研修チームから意見をいただきたいというように考えている。現状としても結構盛りだくさんな研修内容ではあるが、基本的に実務経験が3年目から受講できるので、その辺も含めて意見をいただきたい。 来年度のプログラムについては、12月16日が今年度の研修の最終日となっている。アンケートもあるので、1月13日に来年度のプログラムに向けた打合せを行うこととした。年度末までには、方向性をまとめて、資料を作成したいと考えている。
宮田副委員長	<p>[実践研修チーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> 進行スライドを作成しており、今月末に各自メーリングリストにアップすることになっている。 12月1日にファシリテーター説明会があるので、それに向けての資料の検討を11月中旬まで行うことになった。 研修のつながりについては、基礎研修と更新研修では、内容が重複するようなことはなかったと思うが、実践研修が入り込むことで、役割分担の検討が必要だという話になった。大塚委員が発言されたように、全体で話すのは難しいと思うため、今までは縦割り、基礎、実践、更新だったが、それをつなぐような分科会があってもよいという話があった。
秋谷副委員長	<p>[更新研修チーム]</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修教材作成については、各自で作成した資料を事務局が調整中 1月6日のファシリテーター説明会については、Zoomで実施するが、動画配信部分と演習部分について2時間程度で説明する。演習が17日程あり、ファ

	<p>シリテーターにもかなり協力をしていただかないと難しいと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のつながりについては、各研修チームリーダーでもよいが、先程、分科会という話もあり、そのような方法も必要かという話があった。更新研修は、基礎研修と実践研修を包括した内容になるかと思う。5年に一度のサイクルで受講する研修になるので、なりたてからベテランまでレベルの違いが出てくる研修。3つの研修の中でもかなり重要な役割があるので、研修の内容もしっかりと詰めていかなければならない。 ・検討会の各研修チームメンバーもシャッフルしながらだと、企画も変えながらできるかといった話もあった。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎研修チームの中では、12月の後半にファシリテーターの振り返り会を行うため、その時間を使って少し話ができるかという話も出ていた。本日はこれ以上深めるのは難しいと思うので、リーダー的な人で別途日程を設けるのか、これまで予定されている会議で時間を作るのか、参加される人数や立場によって、3月までに方向性を決めるということであれば、短時間で検討していただくを得ない。事務局はいかがか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の検討会を3月18日に予定しているが、それまでに各研修チームの代表の方で1～2回検討をしていただき、検討会の場で報告をしていただきたいと考えている。
妹尾委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の検討については、事務局に調整していただく。 ・本日の議事録と資料のホームページ公開について委員の皆様のご了承を得た。 ・本日の検討事項が終了したことを宣言して、進行を事務局に戻す。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回検討会の議事録（要旨）は事務局で作成し、メーリングリストで皆様に送付する。内容確認の協力をお願いしたい。 ・第4回開催予定は、3月18日（金曜日）午前10時から12時。開催方法は新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、判断させていただきたい。 ・以上をもって、第3回東京都サービス管理責任者等研修検討会を終了する。

4 閉会